

平成19年6月22日(金)10:00  
経済記者クラブ レクチャー

「京都試作産業プラットフォーム」  
工芸試作グループの発足について

平成19年6月22日(金)  
財団法人京都産業21  
京都試作センター株式会社  
(TEL:075-316-2100)

- 最先端のハイテク技術から伝統工芸の手技まで -  
京都伝統の匠の技を活かした工芸試作2グループが発足しました

財団法人京都産業21では、一昨年より、「試作」を次代の京都を担うものづくり産業として育成するため「京都試作産業プラットフォーム」を形成し、中核的組織である京都試作センター株式会社とともに、ものづくり企業による試作グループ化を進めています。

この度、新たに工芸分野の試作グループとして「洛中千職 - 新工芸試作 - 」「京都伝統工芸試作ねっと」の2グループが発足しましたのでお知らせいたします。

これにより 従来の試作グループとあわせて、8グループとなりました。

これは、京都府が進めている「伝統産業協働バンク」事業の一環として、従来から試作分野の参入に意欲的な工芸関連企業が、京都が培ってきた匠の技による優れた伝統工芸技術を新たなものづくりに活かすことを目指して、京都府、京都産業21の支援を受けて設立を進めてきたものです。

「洛中千職 - 新工芸試作 - 」(4企業)・・・染織、漆工等のプロデューサーとしての役割を果たす企業が、多くの職人の技術(千職)を組み合わせ、新しい分野や産業への事業展開を図っていきます。

「京都伝統工芸試作ねっと」(11企業)・・・京仏具に関連する職人の技を結集して、異分野の試作を通じて新しいビジネスにチャレンジしていきます。

京都試作産業プラットフォームは、工芸分野の試作グループが加わることにより、「最先端のハイテク技術から伝統工芸まで」あらゆる試作が可能な体制が一層強化され、試作グループ同士の連携による新たな提案や協創による事業展開が可能となります。

京都試作センター株式会社は、試作産業プラットフォームにおける試作受注の一元化窓

口として昨年8月から営業を開始し、現在までに、さまざまな業界から多数の引合いがあり、機械金属や電子電気機器関係を中心とする6つの試作グループや試作パートナー企業とともに、多様な試作サービス・ビジネスを展開しています。

今後は、今回設立の試作グループと共に、既存の試作分野はもとより、伝統工芸技術を工業製品分野や建築分野などへ事業展開するとともに、既存顧客である寺院や個人からの修理、修復ビジネスを視野に入れて、伝統工芸品技術の新たなマーケットの創出を目指します。

なお、今回発足した工芸分野の2グループでは、初年度はそれぞれ1,000万円程度、5年後にそれぞれ1億円の受注を見込んでいます。

#### 参考

試作グループ・・・「試作グループのご紹介」を参照

(試作パートナー企業：89社 (試作グループ：8グループ、69社))

<既存グループ>

京都試作ネット / 京都でんき試作ねっと / 京都制御ソフト工場

京都せんい試作ねっと / アルフォース京都 / 北京都大物試作ネットワーク

<新規グループ>

洛中千職 - 新工芸試作 - / 京都伝統工芸試作ねっと

以 上